

高知県感染症発生動向調査（月報）

2017年5月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第18週(5月1日～)から第21週(～5月28日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における4月の上位6疾患の合計は52.03で4月の58.22に比べて減少した。減少の原因は12月から流行していたインフルエンザの減少である。1位は感染性胃腸炎で26.91(4月1位24.90)とわずかに増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で11.38(同3位9.46)と増加した。3位がインフルエンザで5.13(同2位16.23)と減少した。4位は流行性角結膜炎で3.17(同5位2.22)、5位は手足口病で2.79(同10位1.21)、6位は咽頭結膜炎で2.65(同8位1.53)と、夏季の感染症がいずれも増加した。

県外で麻疹が流行している。2017年第1～19週に診断された麻疹患者数は151例で、2016年同時期を大きく上回っている。うち、検査診断例が74例で、68例が修飾麻疹である。多い地域は、山形県44例、三重県21例、東京都17例、広島県11例、大阪府9例、注目されるのは香川県の5例で第6位だった。未だ高知県での発生はないが、要注意である。1歳児（Ⅰ期）と就学前の1年間（Ⅱ期）の定期予防接種の徹底がきわめて重要である。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感染性胃腸炎		5.15	7.23	7.30	7.23	26.91
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.01	2.94	3.17	3.26	11.38
3	インフルエンザ		2.03	1.37	1.05	0.68	5.13
4	流行性角結膜炎		0.57	0.91	0.82	0.87	3.17
5	手足口病		0.44	0.52	0.86	0.97	2.79
6	咽頭結膜熱		0.43	0.66	0.65	0.91	2.65

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の5月の上位6疾患の合計は33.18で4月の32.23と比べて横ばいだった(表2)。インフルエンザが減少したが、感染性胃腸炎、ロタウイルス胃腸炎、咽頭結膜熱が増加した。1位は感染性胃腸炎で14.84(4月1位10.97)と増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で7.14(同2位8.13)とわずかに減少した。3位はロタウイルス胃腸炎で4.01(同5位1.63)と増加した。4位がインフルエンザで2.55(同3位8.00)と減少、5位が水痘で2.44(同4位1.90)と増加、6位が咽頭結膜熱で2.20(同11位0.33)と増加した。ロタウイルスと水痘は全国よりも多く、その他4疾患は全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	計
1	感染性胃腸炎		2.37	4.10	3.80	4.57	14.84
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.17	1.97	1.80	2.20	7.14
3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0.38	0.50	1.50	1.63	4.01
4	インフルエンザ		1.15	0.71	0.25	0.44	2.55
5	水痘		0.57	0.67	0.60	0.60	2.44
6	咽頭結膜熱		0.67	0.87	0.33	0.33	2.20

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 122名(4月 384名)。全国では前年第34週以降に報告が増加した。本県での流行開始は遅れたが、11月からまとまった報告があり、12月には著増し流行期に入った。12月としては、過去10年間のうちで、パンデミックとして記憶に新しい2009年に次ぐ多い報告数であった。1月は、過去10年間では同時期として5番目の報告数だった。しかし、2月は、同時期として過去10年間で最大の報告となり、都道府県別での最多を記録し、1か月間として、2015年1月、2016年3月、2009年11月に次ぐ報告数であった。3月以降は平年並みの数に落ち着いてきたが、今季は、流行期間も長いことから大きな流行になった。成人患者が多いことは今季流行のひとつの特徴であった。

5月は幡多、中央西、高知市、中央東、須崎、安芸の順に多かった。ウイルスはB/Yamagataが1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 66名(4月 10名)。急速に増加し、この時期としては過去10年間で最も多かった。高知市、幡多、須崎、中央東、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 214名(4月 244名)。14年10月以降多い報告数が続き、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月以降にいったん沈静化したが、9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月-1月は平年並みの数となっていた。2月に再び増加し、3月以降も多い数字で推移している。県下全域から報告があり、特に幡多、高知市、須崎からの報告が多い。*Streptococcus pyogenes Untypable*が1件検出された。

4) 感染性胃腸炎

報告数 445名(4月 329名)。安芸市でのみ警報基準値20を上回り、次いで高知市、中央東で多く報告された。病原体はAdenovirus 41が検出された。

ロタウイルスは2011年11月に任意ワクチンが導入されて2013年11月からサーベイランス調査が開始された。ロタウイルス胃腸炎は、2016年は3月に増加し、2013年11月以降では最多の患者数(101名)が報告されたが、4月は36名、5月は13名、6月以降は1~3名と減少していた。2017年も3月から全国で流行が始まり、5月は高知市で30名、幡多で2名、合計32名と4月13名よりも多い数の報告があった。

5) 水痘

報告数 73名(4月 57名)。高知市、中央西、中央東、須崎、幡多、安芸から表記の順に多く報告された。2014年からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、昨年12月は155名と大幅に増加、1月72名、2月30名、3月40名と減少したが、4月57名、5月73名と増加した。2014年10月から始まったワクチン定期化の開始前よりは少ない報告数で推移している。定期予防接種の恩恵を受けていない5歳以上と乳児が35名(48%)を占めていた。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 61名(4月 0名)。初夏に流行が始まる感染症で、今季はやや早い流行開始となった。須崎、高知市、中央東、中央西、幡多から表記の順で多く報告された。ウイルスは検出されていない。

7) 伝染性紅斑

報告数 11名(4月 12名)。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移している。高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 59名(4月 48名)。想定内の変動で推移している。

- 9) 百日咳
報告数 1名(4月 1名)。高知市から1名5歳児例が報告された。*Bordetella pertussis*が1件検出されている。
- 10) ヘルパンギーナ
報告数 10名(4月 1名)。例年6-7月から流行がみられ、流行が開始したと推測される。今年はまだウイルスは検出されていない。
- 11) 流行性耳下腺炎
報告数 16名(4月 28名)。須崎、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。全国的にも増加が報告され注目されているが、今後、高知県でも流行すると予想されている。ウイルスは検出されていない。
- 12) RSウイルス感染症
報告数 10名(4月 34名)。高知市、幡多から報告された。ウイルスは検出されていない。
- 13) 流行性角結膜炎
報告数 3名(4月 0名)。ここ3年間は一桁で推移している。
- 14) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 0名(4月 0名)。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。
- 15) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 0名(4月 0名)。昨年はEchovirus 6が6例検出されており、今年の動向に注意したい。
- 16) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)
報告数 8名(4月 9名)。高知市から報告があった。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

- 17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
報告数 20名(4月 22名)。例年並みの数で推移している。
- 18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
報告数 0名(4月 0名)。2017年は3月に1例報告されている。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患(平成29年5月)

類型	病名	報告月					総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
2	結核	5	7	10	8	5	35
4	つつが虫病	1					1
	レジオネラ症		1				1
	日本紅斑熱				1	1	2
5	アメーバ赤痢			2	1	1	4
	ウイルス性肝炎			1		1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	1	3	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1
	後天性免疫不全症候群		1		1	2	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	3	3	3	13
	播種性クリプトコックス症			1	1		2
	梅毒	2	1	1	1	4	9
	総計	12	13	20	17	21	83

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

5月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	3	18	31	23	6	41	122	384	60	
小児科	咽頭結膜熱		4	40	1	5	16	66	10	31	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	31	105	13	13	49	214	244	197	
	感染性胃腸炎	47	115	217	14	9	43	445	329	482	
	水痘	2	17	35	9	3	7	73	57	34	
	手足口病		8	26	1	25	1	61		12	
	伝染性紅斑		3	7			1	11	12	39	
	突発性発疹	2	15	28	3	5	6	59	48	40	
	百日咳			1				1	1	9	
	ヘルパンギーナ		5	1	1		3	10	1	16	
	流行性耳下腺炎		3	5		6	2	16	28	72	
	RSウイルス感染症			9			1	10	34	21	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			3				3		6	
STD	性器クラミジア感染症			1				1	2		
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ								1		
	淋菌感染症		1					1			
基幹	細菌性髄膜炎									1	
	無菌性髄膜炎									3	
	マイコプラズマ肺炎			8				8	9	35	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1	1	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			30			2	32	13	13	
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	1	5	13			1	20	22	24	
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌 感染症										
計		58	225	560	65	72	173	1,153	1,196	1,096	
前月		48	226	578	92	99	153				
前年同月		60	246	464	117	51	158				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

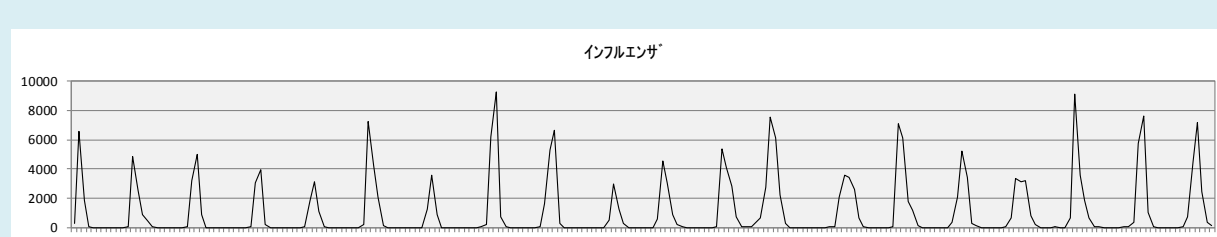
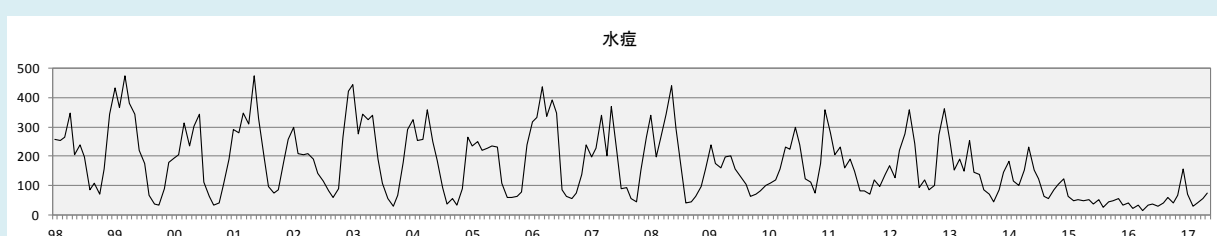
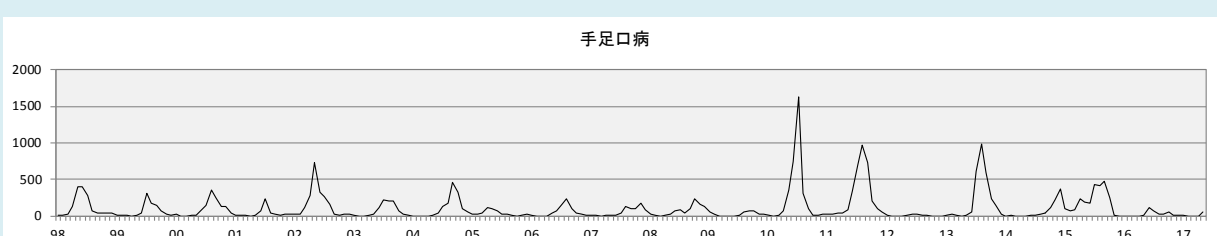
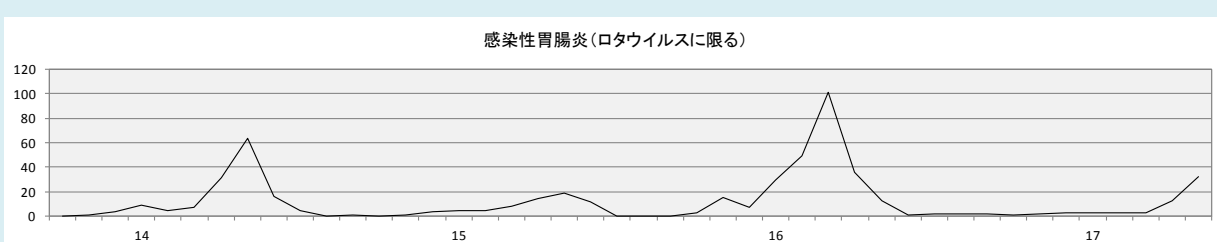
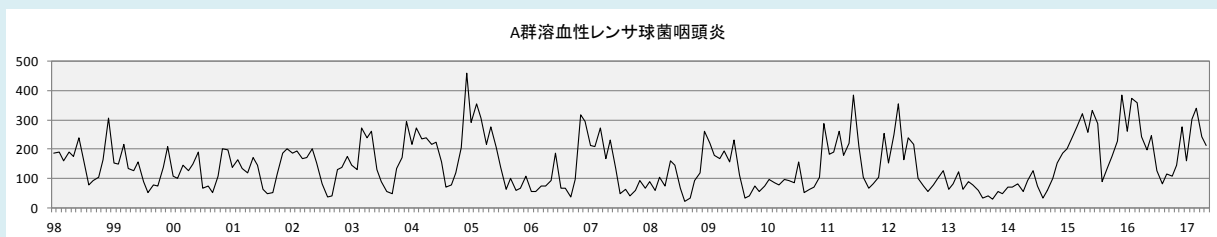
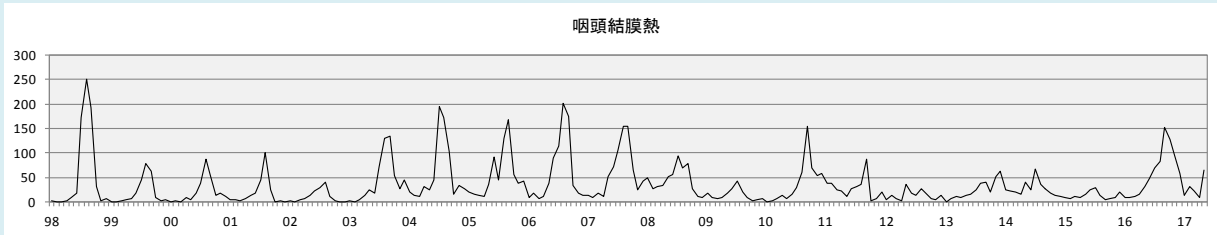
2017年

5月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	0.75	1.64	1.95	4.60	1.50	5.13	2.55	8.00	1.25
小児科	咽頭結膜熱		0.57	3.64	0.33	2.50	3.20	2.20	0.33	1.03
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	4.44	9.56	4.33	6.50	9.80	7.14	8.13	6.57
	感染性胃腸炎	23.50	16.43	19.73	4.67	4.50	8.60	14.84	10.97	16.06
	水痘	1.00	2.43	3.19	3.00	1.50	1.40	2.44	1.90	1.13
	手足口病		1.14	2.36	0.33	12.50	0.20	2.03		0.40
	伝染性紅斑		0.43	0.63			0.20	0.37	0.40	1.30
	突発性発疹	1.00	2.14	2.56	0.99	2.50	1.20	1.96	1.60	1.33
	百日咳			0.09				0.03	0.03	0.30
	ヘルパンギーナ		0.71	0.09	0.33		0.60	0.33	0.03	0.53
	流行性耳下腺炎		0.42	0.45		3.00	0.40	0.53	0.93	2.40
	RSウイルス感染症			0.81			0.20	0.34	1.12	0.71
	眼科	急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎				3.00				0.99		2.00
STD	性器クラミジア感染症			0.50				0.17	0.33	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ								0.17	
	淋菌感染症		0.50					0.17		
基幹	細菌性髄膜炎									0.13
	無菌性髄膜炎									0.39
	マイコプラズマ肺炎			1.60				1.02	1.14	4.38
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.13
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			6.00			2.00	4.01	1.63	1.63
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	5.00	2.60			1.00	2.50	2.75	3.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		27.75	30.35	45.06	18.58	34.50	30.93	34.76	33.44	33.01
前月		20.00	28.50	45.21	21.86	40.50	24.53			
前年同月		28.50	33.61	34.94	38.31	22.25	30.63			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成29年5月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

5月はウイルス70件、細菌5件の搬入があり、そのうちウイルス6件、細菌2件の病原体を検出した。また、平成29年4月に搬入された検体でウイルス12件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 41 1件、Cytomegalovirus 3件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 4件、Human herpes virus 7 2件、Influenza virus A H3 NT 1件、Influenza virus B/Victoria 1件、Influenza virus B/Yamagata 1件、Parainfluenza virus 3 2件、Rhinovirus 1件、Rotavirus group A NT 1件、また、細菌の内訳はBordetella pertussis 1件、Streptococcus pyogenes Untypable 1件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	1	男	上気道炎	40°C, 上気道炎, 発疹,	ぬぐい液	4/25	Cytomegalovirus
2	1	女	突発性発しん	39°C, 発疹,	ぬぐい液	4/25	Human herpes virus 6
3	2ヶ月	女	—	39°C, 発疹,	鼻咽腔ぬぐい液	4/26	Human herpes virus 6
4	6ヶ月	女	インフルエンザ様疾患	38°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	4/26	Rhinovirus
5	14	男	—	39°C,	ぬぐい液	5/9	Human herpes virus 7
6	10	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38°C,	ぬぐい液	5/9	Streptococcus pyogenes Untypable
7	28	男	インフルエンザ	38°C, 咳漱,	ぬぐい液	5/9	Influenza virus A H3 NT
8	9	女	インフルエンザ	39°C, 咳漱, 上気道炎,	ぬぐい液	5/9	Influenza virus B/Victoria
9	11ヶ月	男	喘息様気管支炎、感染性胃腸炎	40°C, 嘔吐, 嘔気, 下気道炎,	ふん便	5/9	Adenovirus 41
10	1	女	感染性胃腸炎	40°C, 発疹, 結膜炎,	ふん便	5/9	Human herpes virus 6
11	3	男	感染性胃腸炎	37°C, 下痢,	ふん便	5/9	Rotavirus group A NT
12	1	男	急性気管支炎	39°C, 咳漱, 上気道炎, 下気道炎,	ぬぐい液	5/9	Parainfluenza virus 3
13	1	男	不明熱(EB疑い)	39°C, 下痢,	ぬぐい液	5/9	Cytomegalovirus Epstein-Barr virus
14	7ヶ月	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	5/9	Cytomegalovirus
15	12	男	無菌性髄膜炎	38°C, 嘔吐, 嘔気,	ぬぐい液	5/9	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
16	4	女	百日咳	咳漱,	鼻咽腔	5/17	Bordetella pertussis
17	7ヶ月	男	急性気管支炎	39°C, 咳漱, 気管支炎,	ぬぐい液	5/23	Parainfluenza virus 3
18	7	男	インフルエンザ	38°C, 上気道炎,	ぬぐい液	5/24	Influenza virus B/Yamagata

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2017年					2017年 総計
		1	2	3	4	5	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus agalactiae</i>		1				1
	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>		1				1
	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>		2			1	3
	計		4			1	5
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	22	19	7	6		54
	Influenza virus A H1pdm09	2	2	1	1		6
	Influenza virus B /Victoria	1	2	1	1		5
	Influenza virus B Yamagata		1		1	1	3
	計	25	24	9	9	1	68
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					1
	Adenovirus 2			1			1
	Adenovirus 3			1			1
	Echovirus 9			1			1
	Human herpes virus 6			1			1
	計	1		4			5
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			2			2
	Adenovirus 41					1	1
	Astrovirus NT		2				2
	Coxsackievirus B1			1			1
	Human herpes virus 6					1	1
	Norovirus GII NT	9	3	3			15
	Rhinovirus	1					1
	Rotavirus group AG9	2					2
	Rotavirus group A NT				1		1
	Sapovirus genogroup unknown	1		1			2
	<i>Staphylococcus aureus V</i>			1			1
計	13	5	8	1	2	29	
伝染性紅斑	Human herpes virus 7	1	1				2
	計	1	1				2
百日咳	<i>Bordetella pertussis</i>	2	1	2	1	1	7
	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	2	2				4
	計	4	3	2	1	1	11
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6				1		1
	Human herpes virus 7				1		1
	Varicella-zoster virus		1				1
	計		1		2		3
突発性発疹	Human herpes virus 6				1		1
	計				1		1
その他	Adenovirus 1	1					1
	Adenovirus 3	1					1
	Coxsackievirus A2	1					1
	Cytomegalo virus	3			2	1	6
	Echovirus 3			1			1
	Epstein-Barr virus	1				1	2
	Human herpes virus 6	1			1		2
	Human herpes virus 7	2	1	1	1		5
	Human metapneumovirus		1				1
	Norovirus GII NT		1				1
	Parainfluenza virus 3				1	1	2
	Respiratory syncytial virus A		1				1
	Respiratory syncytial virus B	1			1		2
	Rhinovirus	1	1	1	1		4
	計	12	5	3	7	3	30
総計		56	43	26	21	8	154

類型	病名	報告年																												総計			
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29													
2	結核																													1475			
	計																													1475			
3	コレラ	1																												3			
	パラチフス	2																												2			
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2																					25			
	腸チフス	1																												3			
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	1	34								191						
計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34								224							
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1																		32					
	Q熱	1	1	2																												5	
	オウム病	1																												2			
	つつが虫病	9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3								75									
	マラリア																												3				
	レジオネラ症	2																												52			
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	2								145					
	日本脳炎	1	1	1																												6	
	レプトスピラ症																												8				
	E型肝炎																												2				
	デング熱																												7				
	重症熱性血小板減少症候群																												24				
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	4								361					
5	アメーバ赤痢	2	2	2	1	2	2	2	1																		40						
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3								56												
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																												53				
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4																												28	
	ジアルジア症	1	2	1																												7	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1																												3			
	急性脳炎																												17				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																												14				
	後天性免疫不全症候群	2																												63			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																												12				
	侵襲性肺炎球菌感染症																												46				
	水痘(入院例に限る)																												3				
	播種性クリプトコックス症																												3				
	髄膜炎菌性髄膜炎																												1				
	破傷風	3	2	2	1																												29
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	9								143					
麻しん																												5					
風しん																												16					
計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	44								539						
新型	新型インフルエンザ																													34			
	計																													34			
動物	鳥インフルエンザ																													1			
	計																													1			
総計																													2634				